

式 辞

新しい春の訪れを感じる今日の佳き日に、ご来賓並びに卒業生保護者の皆様方の祝福と励ましの中、第七十五回北海道室蘭清水丘高等学校卒業証書授与式を挙行できますことを、心よりお礼申し上げます。

また、保護者の皆様には、お子様の晴れの卒業に心からお祝い申し上げますとともに、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに改めて厚くお礼申し上げます。学校としても立派に成長した卒業生を送り出せることを大きな誇りに思っています。

さて、ただいま卒業証書を授与されました百五十三名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、GIGAスクール構想の下、道立高校におけるBYOD端末開始の学年でした。本格的にタブレットを利用した授業は二年次生になってからでしたが、コロナ禍を経て急速にICT化が教育界にも訪れてきました。私を含め教職員が試行錯誤を繰り返し、時には皆さんに教えてもらっての授業展開だったのではないのでしょうか。

ICTの急速な進歩もそうですが、AI技術の発達によってこれからの世の中はどのように変化していくのか、先行き不透明で予測困難なVUCA(ブーカ)の時代といわれています。このことは集会でもお話ししました。大切なことは「デジタルを使いこなせる力」「他者を受け入れる力」「自ら問いを立て、答えを探す力」です。この三つの力を身につけることができるように三年間、学校では指導してきました。しかし、皆さんの人生にとって高校卒業がゴールではありません。これから先もこの三つの力を伸ばしながら、自分を成長させ、それぞれの目標に進んでください。

また、皆さんの三年間を振り返りますと、今まで経験したことがない猛暑がありました。学校にはジャージで登校し、暑さとの戦いの中、学習に励んでいました。さらに全国高等学校総合体育大会、いわゆるインターハイが北海道で開催されました。ここ室蘭でもフェンシングの競技会会場となり、皆さんの中からも夏休みではありながら競技役員として大会運営に協力してもらいました。全国レベルの技術を目の当たりにしたことと思います。一方、日本や世界に目を向けると、WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)の大会では大谷選手の活躍で三度目の世界一になったという嬉しいニュースがあった反面、元旦に起こった能登半島地震では、いまだ、復

旧していない地域もあるそうです。ロシアによるウクライナへの侵攻もまだ続いています。誰がここまで続くと思っていたことでしょう。このような中、無事に卒業式を迎えることができることに改めて感謝したいと思います。

今こうして、自分たちが生活できていることが当たり前ではないことを認識してください。自分の周りがどうなっているのか、世界はどうなっているのか、視野を広くもって過ごして欲しいと願います。

これから新たなスタートをきる皆さんに向けて期待したいことを三つ挙げます。

一つ目は、これからの日本を作っていくのは皆さんだということです。日本では世界に比べると、若者の政治離れが叫ばれています。自分達の責任で日本を動かすんだという気持ちを持ってもらいたいと思います。当然、できることとできないことはありますが、声や行動に出すということは大切なことです。日本の将来に向けて、自分達、自分の子ども達、孫達、その先の人達のことを考えて日本を創っていく人となって欲しいと願っています。

二つ目は、困難を乗り越える強い心を持ち、協力して課題を解決する行動力のある人になって欲しいということです。

人生を歩む上で、今までに体験したことのない困難や簡単には答えを出せないこと、解決ができないことに遭遇することもあるかと思っています。その様なときには、諦めず、強い心を持って、困難を乗り越えていただきたいと考えます。失敗を恐れることなく、自分の可能性を信じ、限界を作らず挑戦し、時には他者と協力して乗り切って欲しいと思います。

三つ目は、思いやり溢れる心豊かな人となって欲しいということです。

人は、支え合って生きていきます。人生に「喜怒哀楽」はつきものですが、独りよがりではなく、感動を分かち合ってこそ豊かな人生が歩めるものです。希望が叶えられた時、なすべき成果が達せられた時、人のために役立つ時など、そのことが自分だけではなく、ご両親をはじめ家族、さらには友人や知人の喜びであるとき、大きな充実感が得られるものでしょう。巡り会う人たちの為になる生き方、さらには、所属する場所の発展に寄与したり、後に続く人のためになるとするならば、これ以上のものはないと思います。

以上、この三つのことを期待しますが、実践するに当たり基本となるもの

は、何といたっても心身共に健康であることです。健康管理には十分留意して下さい。

卒業生の皆さん、どうか、今まで自分を支えてくれた、御両親、友人、先生方、地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、室蘭清水丘高校の卒業生としての自覚をもって、校訓「清風萬里」の言葉のように、さらなる飛躍を遂げて下さい。本校での学びを基盤にそれぞれの夢の実現を目指して努力を重ね、幸せな人生を過ごされるよう願っております。

結びになりますが、今日から室蘭清水丘高校は皆さんの母校であり、心の故郷であります。どうか折に触れ、後につく後輩やこの学び舎、母校の発展を見守っていきましょう。

たくましく成長した卒業生の皆さんの洋々たる前途を祝し、また、これからの大いなる健闘を期待するとともに、本日ご来臨を賜りました皆様のご健勝をご祈念申し上げ、式辞といたします。

令和七年三月一日

北海道室蘭清水丘高等学校長 深 澤 健